

# 令和3年度 筑豊地区中学校新人体育大会 軟式野球大会要項

主催 筑豊地区中学校体育連盟  
田川地区各市町村教育委員会

## 1 日 時

令和3年10月31日(日)

開 場 8時00分

令和3年11月 6日(土)・・・予備日

競技開始 9時30分

## 2 会 場

10月31日(日)

第一会場 田川市民球場(田川市伊田2745-2)

第二会場 猪位金球場(田川市猪国538)

<予備日>11月 6日(土)

第一会場 田川市民球場(田川市伊田2745-2)

第二会場 猪位金球場(田川市猪国538)

## 3 参加資格

- (1) 筑豊地区中学校新人体育大会開催基準及び『特別規定』による。
- (2) 引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員(部活動指導員含む)とする。ただし、教育職員(部活動指導員含む)以外のコーチは、学校長が認め、筑豊地区中体連に登録し承認を受けた者とする。
- (3) チームの編成は、一校単位で編成されたものを原則とする。ただし、申請し了承を得た複数校合同チームの参加を認める。

## 4 本競技は「筑豊地区中学校体育大会開催に向けた感染拡大防止ガイドライン」に準じて行うものとする。

## 5 新型コロナウイルス感染拡大防止に係る確認・注意事項

- (1) 「3密」や飛沫感染を避けるための工夫
  - ① 消毒液を会場入り口、一、三塁側ベンチに設置し、定期的に補充する。
  - ② 大会運営スタッフはマスクを着用する。
  - ③ ベンチ内が密集になる可能性があるため、横並びに座り、なるべく人と人との距離を取るようにする。ベンチ内では、手指消毒を定期的に行うように呼びかける。
  - ④ 水分補給は、各人のペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲みまわしなどを行わないようにする。
  - ⑤ 試合日程の終了した学校の生徒・保護者は速やかに会場から出るようにする。
  - ⑥ 応援席では、なるべく人と人との距離を取るようにする。また、大声での応援は避け、拍手での応援をお願いする。
- (2) 接触感染を防ぐための工夫
  - ① 試合開始前のシートノックは行わず、サイドノックとする。
  - ② 試合開始前は本塁付近には集まらず、ベンチ前で整列しあいさつをしてから試合を開始する。試合終了後も同様とする。
  - ③ 試合前、試合中にベンチ前で円陣を組む場合は密集にならないように配慮する。また、マウンドに集まる場合も口にグラブをあてるようにする。
- (3) 入場制限について
  - ① 応援については、各チーム登録出場選手1名につき2名以内とする。

## 6 参加制限 各地区1位のみとする。

## 7 表 彰 3位までを表彰する。

8 県大会出場資格 上位3チームは県大会出場資格を得る。

## 9 申し込み

令和3年10月25日(月)までに各地区専門部長は専門部長に電話連絡すること。

## 10 各地区専門部長

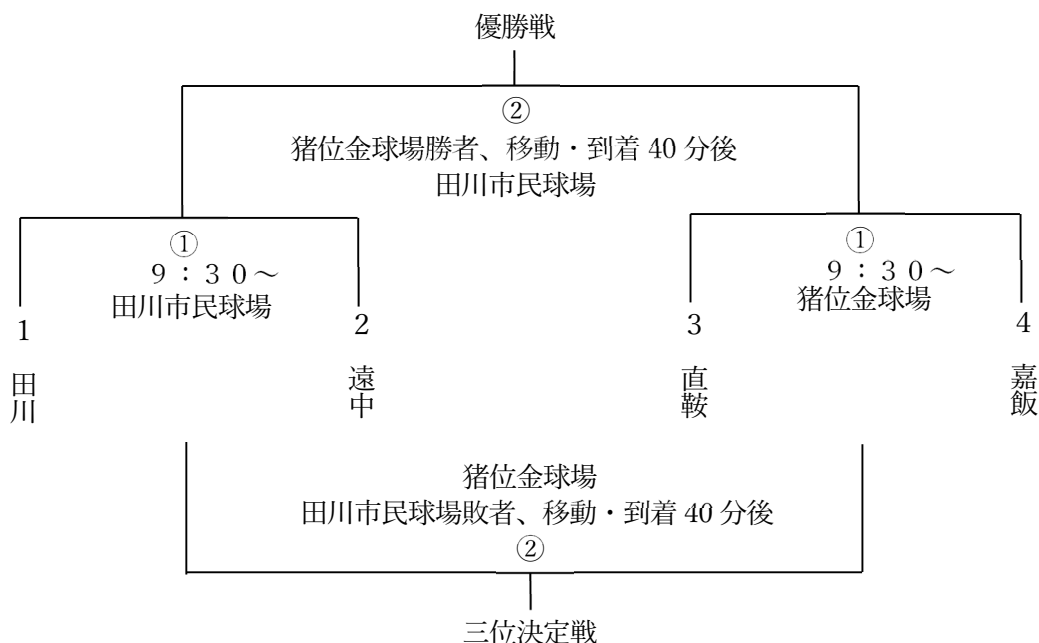
地区	氏名	学校	学校住所	tel	fax	専門部長
田川	中尾 勇樹	鎮 西	〒825-0002 田川市伊田 2024	0947-44-1182	0947-44-5653	○
直鞍	三浦 宏之	宮若東	〒823-0011 宮若市宮田 3410-2	0949-33-3501	0949-33-3502	
遠中	郭 晃成	中 間	〒809-0001 中間市大字垣生 510	093-244-3500	093-244-3805	
嘉飯	梅津 一也	嘉 穂	〒820-0306 嘉麻市上西郷 376	0948-57-0257	0948-57-0233	

## 11 申し合わせ事項

- (1) 試合球 公認球M号
- (2) 規 約 2021年度公認野球規則及び申し合わせ事項及び指導者必携に準ずる。  
ただし、「連投は認めない」の項目は採用しない。また、「球数制限」については、実施する。  
※球数制限については、次の通りである。  
投手の投球制限については、大会中の投球数を「1日100球まで」とする。試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- (3) 試 合
  - ① 全試合で、5回以降7点以上差があるときはコールドゲームとする。
  - ② 8回からをタイブレークとする。  
タイブレークは、継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者は順次前の打者とする。すなわち無死1・2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、更に継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。尚、通常の延長戦と同様規則によって認められる選手の交代は許される。決勝戦のみ12回終了までに勝敗が決しない場合は、最終出場選手9名全員による抽選によって決定する。
  - ③ タイムの回数制限について  
タイム(監督タイム、攻撃タイム、守備タイム)は、1試合に3回以内とする。なお、タイブレークとなった場合は、1イニングに1回タイム(監督タイム、攻撃タイム、守備タイム)をとることができる。
- (4) ベンチ入りできる人数は選手18名以内(マネージャーを含む)、監督1名、コーチ1名、引率教師1名の計21名以内とする。
- (5) 抗議は、主将及び当該選手、監督とする。
- (6) ランナーコーチは選手に限るランナーコーチはヘルメットを着用すること。
- (7) 監督は試合中ベンチにいるものとする。みだりに選手を呼ばない。
- (8) 出場選手は1～18の背番号をつける。監督は背番号30番を付ける。コーチは義務はないが付けるならば29番を付けてもよい。
- (9) ベンチは若番号を一塁側とする。
- (10) 日没・降雨コールドは次のとおりとする。
  - ① 5回まで終了していないときは、再試合とし、次の期日に行う。
  - ② 5回を終了している場合は試合成立とする。ただし、同点の場合は中断した状況のまま、次の期日に継続して行うものとする。
- (11) 打者・走者の両耳ヘルメット、キャッチャーのレガース・ヘルメット・マスク・スロートガードの着用を義務化する。  
試合前のブルペンまたはノック時も例外ではない。捕手の防具装備は、ベンチから出た位置で速やかに行うこと。
- (12) 選手の手袋については、白または黒の単一色のものに限り認める。ただし、守備機会の投手は着用を認めない。
- (13) ペットボトルでの応援や、メガホン等で施設を叩くことを禁止する。

- (14) 服装・頭髪・まゆ毛の乱れがある生徒については、各顧問が責任を持って試合前までに指導する。なお、改善が見られないようであれば、本大会に出場できない場合もあり得る。
- (15) 競技開始前にマナーチェックを行う。違反がある場合は、当該学校顧問、会長、専門部長と協議する。また、競技中、中学生らしくない言動のあるときは退場を命ずることがある。
- (16) 雨などの事情により試合が早まる場合は、各地区専門部長を通して該当校に連絡をする。

## 1 2 組み合わせ



## 1 3 審判割りについての申し合わせ事項

- (1) 主審は審判連盟に依頼し、塁審は教師が行う。(4人制で行う)
- (2) 塁審の審判割りは、下記のとおりとする。

田川市民球場 第 1 試合	田川市民球場 決 勝	猪位金球場 第 1 試合	猪位金球場 三位決定戦
嘉飯・直鞍地区専門部		田川・遠中地区専門部	

※ 審判は原則として、審判帽・福岡県軟式野球専門部スタッフポロシャツ（白ポロシャツでも可）・チャコールグレーのズボン（紺のズボンでも可）を着用する。

## 1 4 その他

- (1) 監督は、本大会要項・申し合わせ事項・競技上の注意・会場使用上の注意やマナーについて、その関係するすべての生徒・保護者を含む大会参加者に周知徹底させるものとする。
- (2) AEDは、両球場ともに本部席横に設置。